

自民党は責任政党として国民の命と暮らしを守り抜きます。
本号外はその最前線で活躍する三原じゅん子参議院議員を特集します。

三原

じゅん子さん

内閣府大臣補佐官・参議院議員

私の決意

『あなたの病名はがんです。残念ですが子どもを産むことは諦めてください。』

その宣告が私の人生を一変させました。

「生きたい」と心の底から祈り、命の大切さについて必死に考えました。

それ程、がんの闘病は壮絶なものでした。

この国を、がん患者にとって優しい国にしたい!という思いから政治家を目指しました。

初当選以来12年間、がんサバイバーとして患者目線で様々な病を抱えた方たちの

「いのちの為の政策」を生み育ててまいりました。

小児・AYA世代のがん患者達の妊孕性温存療法により、

子どもを望む方に希望を持てる事業も全国規模で実現いたしました。

私には、そうした数々の政策を強化させ見届ける責任があります。

弱きものを守る政治家であり続けたい!

三原じゅん子にしか出来ないことに全力を尽くしてまいります。

子ども達の未来をしっかり守りたい!

これが私の決意表明です。

守りたい♡



厚生労働副大臣として実現!

1 不妊治療の保険適用

わが国の総出生数のうち、14人に1人が体外受精によって誕生したと言われています。しかし不妊治療は治療費が高額であり、子どもを持ちたいと考える方に寄り添う政策を考える必要がありました。働きながら治療ができる職場の環境整備も実現できました。

3 HPVワクチンの積極的勧奨再開

～キャッチアップ接種も実現～

HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンを大きく進展させることができました。わが国では毎年、子宮頸がんに約1.1万人が罹患し、そのうち約2,900人が亡くなっております。喉頭がんや肛門がんなどもHPVが原因と言われており、男性にも関心を持っていただきたいウイルスです。この4月、厚生労働省から全国の自治体に通知され、積極的勧奨再開となり、がん罹患リスクを解消する唯一の手段が実現できました。

5 新型コロナワクチン接種を強力に推進

菅総理(当時)の下、厚生労働副大臣として各自治体等との調整を進め、大規模会場等での接種や職域接種を推進、1日100万回接種を実現しました。

2 小児・AYA世代^{にんようせい}がん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業

これまでは思春期・若年世代のがん患者さんたちが、がん手術を行った際に、生殖能力が低下したり喪失してしまうケースがありました。こうしたことを避けるために、思春期・若年世代のがん患者の皆様が手術前に、卵子や胚または精子を長期冷凍保存して、将来望んだ時に安心して生殖医療を受けられるように、経済的支援を始めることができました。

4 不妊予防支援パッケージの策定

～ライフステージに応じた女性の健康推進策～

学校・スポーツ現場における養護教員の研修の充実や指導者の教育、アスリートに対する運動性無月経などへのリスク啓発と支援強化をします。そして職場を通して産業医の研修や女性の健康に関わる相談体制の充実を支援いたします。その結果、ライフステージに応じた女性の健康を継続的に支援します。女性の健康と身体を守るために、省庁や各部局を横断して、政治主導で何とか取りまとめることができました。

守りたい♡



三原じゅん子さんのプロフィール

平成22年 第22回参議院議員選挙(全国比例区)初当選
平成28年 第24回参議院議員選挙(神奈川選挙区)2期目当選

[略歴]

- 厚生労働副大臣
- 参議院厚生労働委員長、参議院消費者問題に関する特別委員長
- 自由民主党女性局長(4期)、自由民主党神奈川県連女性局長
- 婚活・ブライダル振興議員連盟
- オートバイ議員連盟
- モータースポーツ振興議員連盟
- どうぶつ愛護議員連盟
- HPVワクチンの積極的勧奨再開を目指す議員連盟
- 不妊治療への支援拡充を目指す議員連盟
- 知的障がい者の明日を考える議員連盟
- ライブ・エンタテインメント議員連盟

12年前の私の公約

子宮頸がんの予防ワクチンと検診の無料化を目指します!!

不妊治療における保険の適用を!!

介護事業主への補助金制度を見直します!!

介護職員報酬を向上させます!!

介護支援専門員の確保を!!

がん患者、サバイバーへの就労を支援します!!

守ってあげたいいのちを懸けて。

実現しました!

自由民主党公認 参議院比例代表候補 三原 じゅん子 Junko Mihara

#意見があるなら自民党

ライブボイス
改革!
自民党

